

こども像

子ども像とは「こんな子どもに育ててほしい」という保育者の願いです。子どもたちがひとりの人間として、たくましく、豊かに成長、発達してほしい。自分の意思を伝え、自立(自律)した人になってほしいという願いをもち、以下の子ども像を掲げています。そよ風ではこの子ども像に向かい療育をすすめます。

- ◆いのちを守り、いのちをつよくする子ども
- ◆ゆたかな要求をもち、意欲的に生活する子ども
- ◆ときどきわくわくしながら、あそぶことが大好きな子ども
- ◆人の気持ちがわかり、自分の気持ちを伝えられる子ども
- ◆人とともに育ちあえる子ども



本人支援(クラス職員だけでなく、必要に応じて多職種と連携しとらえます)

《健康・生活》

本人の健康状態を丁寧にとらえます。子供たちが見通しやすい日課の中で、一人一人の状況に合わせてながら、食事・排泄・着脱・清潔に関する身辺自立(自律)を促します。

《運動・感覚》

子どもの好きな感覚(7感)に働きかけ、楽しみながら、体を動かす楽しさ、心地よさ、ボディイメージを育みます。色々な素材であそび、手で物に関わる面白さを広げます。

《認知・行動》

発達に働きかける、様々な活動を通して、活動がわかる・つながる楽しさや、工夫する手応え、面白さにつなげます。

《言語・コミュニケーション》

活動を通しての要求を豊かに広げます。個々に合わせた表現手段で自分の気持ちを安心して伝えられる力を育みます。

《人間関係・社会性》

保護者・先生・お友だちとの、心地よい関係を育みます。「一緒がうれしい」だけでなく、大人が間に入りながら、相手の気持ちにも気づけるよう支援します。

《主な行事》入園式・卒園式・家族行事(運動会・遠足・海水浴)・まとめの行事
季節の行事(端午の節句・七夕・お月見・クリスマス・もちつき・七草・節分・桃の節句)・お泊り会・プール・誕生会 など

【療育の視点】

- ・24時間の生活リズムを整え、発達の土台となる健康なからだづくりを積極的に取り組みます。
- ・子どもが見通しを持ちやすい日課づくりをします。また「ジブンデやりたい」という意欲を育て、基本的生活習慣の自立(自律)に向かいます。
- ・こどもの好きなこと、楽しいことを通して、あそびを豊かに広げます。
- ・自分の気持ちや要求を持ち、その子なりの表現で、周りにつたえる力を育てます。
- ・生活やあそびに楽しく向かう中で、子ども同士が響きあう集団づくりをすすめます。
- ・子どもたちだけでなく、保護者のかたも、子どもたちと一緒にあそんだり、学ぶ中で、子どもの新たな発見をしたり、保護者同士の仲間づくりの機会につなげます。

開所日数・時間など

月・火・木・金: 10:00~15:00 (8:45~必要時受けいれ、17:30までの延長保育あり)

水: 親子登園日(10:00~13:00)(*ただし、月に1回、水曜の15:00 保育あり)
親子あそびや、保護者会の活動、研修を組みます。

送迎バス有り(通常登園の時間帯のみ、こちら指定のバス停のみ停車)。ただし、近隣の方



家族支援

毎日の園と家庭での様子を共有し、一緒に子供の姿を考えあいます。また、親子登園を通して、親子ともに様々な経験を楽しみながら広げます。また子どもの姿からの支援の提案、様々な学習、保護者同士の仲間づくりを進めます。子供の姿で悩んだとき、困ったときは、適宜懇談時間を設け、一緒に考えていきます。行事などには、家族で参加していただき、子どもの園の様子を知ってもらう機会を設けています。また、兄弟のプログラムを実施し、家族だけでなく、兄弟さんも楽しめる機会や、仲間づくりの場を設けています。

移行支援

移行の際は、引継ぎ(書面・訪問)を行い、切れ目のない支援につなげます。また年長児は、保護者と一緒にサポートブックを作成します。

地域支援・地域連携

保育所等訪問支援を実施し、状況に応じて多職種でとらえあいながら、子どもの理解を関係機関の先生と深めるとともに、よりよい支援を考えあいます。地域の事業所や医療機関などと連携しながら、子どもの姿を確認しあったり、家族にとってより良い支援を考えます。

職員の資質向上

職場内での研修だけでなく、外部で開かれている幅広い研修を通して、制度や本人理解、発達理解など学びを深め、より良い支援につなげられるようにします。